

令和8年度

三好中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・対話的で深い学びの授業改革、授業ルールの徹底
- 一人一人が輝く授業、ファシリテーション・ICTの活用

校長

垂水 恵子

学力向上推進員

村上 郁代  
(教務主任)

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には真面目に取り組める。 ●基礎的・基本的な知識や技能の習得が不十分な生徒がいる。	・各教科における基礎的・基本的な知識や技能を身につける。 ・学習の過程で習得した知識・技能を、既習事項と関連づけて、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・生徒が興味をもって学習に取り組めるように授業内容や発問を工夫する。 ・ICTを効果的に活用し、基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせる。 ・教員の指導力向上のために、オープンクラスウィークを設け、相互に授業参観を行う。 ・朝学習の時間を各学年ごとに有効活用し、生徒の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。 ・絵本の読み聞かせや読書活動の推進を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友達の意見を聞いたりすることができる。 ●自分の考えを、根拠を示しながら筋道を立てて説明することに課題がある。	・自他の意見を比較し、考えを深めることができる。 ・根拠や理由を明確にし、自分の考えをまとめ、自分の言葉で相手に伝えることができる。 ・話を聞いて、質問や意見、感想などを即興でやりとりすることができる。	・学習した内容を、自分なりにまとめたり、発表できるような場を工夫して設定する。 ・日直の「1分間スピーチ」の書き方を指導し、表現力の向上を図る。 ・ペアやグループで話し合う場面では、ファシリテーションスキルを使って、話し合いを円滑にすすめる工夫をする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業を落ち着いた態度で受け、内容を理解しようとしている。 ●メディアの使用時間が長く、家庭学習の習慣が身につけていない生徒もいる。 ●学ぶことの意義を自分の生き方と結びつけて理解し、これからの人生を切り拓く意欲をもって取り組めていない生徒がいる。	・家庭学習の時間を確保し、根気よく継続して取り組むことができる。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。 ・授業に真剣に取り組む、わからないことは教師や友達に質問することができる。	・授業はじめに本時の目標を提示し、授業の終わりには振り返りの時間を設定する。 ・定期テスト前に、学習計画表を作成し計画的に学習するよう指導する。 ・CS事業の「放課後質問教室」を月2回開き、主体的に学習に取り組んだり、分からないところを質問したりできる場面を設定する。 ・町の英語検定料補助金制度やカナダ派遣事業を活用し、英検取得や海外短期留学への意欲的な取組を支援する。			